

キャラクター名  
白々明 黎人 (さざめ れいと)

プレイヤー名

シンドローム	バロール エンジェルハイロウ		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	19歳	性別	男
覚醒	素体	衝動	嫌悪	初期侵食率	31	%
出自	複数の兄弟姉妹がいる	経験	実験体	邂逅	忘却	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	0	0	1			1	行動値	21
感覚	4	1	2		2	9	(非装備時)	21
精神	3	0	0			3	戦闘移動	26
社会	1	0	0		2	3	全力移動	52

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2		R C	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:+2 UGN	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ボルトアクションライフル	射撃	9r+2	-	+8		2:187p マイナ使用で命中+5 同インガ不可

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ボルトアクションライフル	
コネ：噂好きの友人	
コネ：UGN幹部	
コネ：要人への貸し	
コネ：手配師	

合計装甲： 0    合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
No.05 実験体(ロストナンバー)	P	N		
日々出 晴英	P 友情	N 敵愾心		
A.R.E.A.	P 執着	N 脅威		
お守り	P 幸福感	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12    残り財産P: 8

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンソリテ:バロール	3	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果： C値をLVする(下限7)								
瞬速の刃	3	3	Xジャー	武器	-	対決	-	
効果： EA31p 判定D+[LV+1]								
因果歪曲	1	3	Xジャー	-	範囲(選択)	-	-	
効果： EA29p 範囲(選択)に変更 同インガ不可 シリLV回								
天からの眼	1	2	Xジャー/リアク	-	-	対決	-	
効果： EA23p 判定D+LV個								
マシビジョン	3	4	Xジャー	-	-	対決	100%↑	
効果： EA26p 攻撃力+[LV×5] シリ3回								
ミステイクション	1	5	オート	視界	単体	自動	-	
効果： EA24p 範囲/範囲(選択)を単体に変更								
ディメンジョンゲート	1	3	Xジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果： EA35p 要はどこでもOA。								
天使の絵の具	1	-	Xジャー	視界	シーン(選択)	自動	-	
効果： EA27p 映像を大気中に投影する。								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

【コピー用】  
PC1: さざめ れいと  
CN: 矢射る暁神 (アークドアポロン)  
バロール / エンジェルハイロウ

カラーコード: 潤朱 D75F55

【備考】  
明るく朗らかで喋り好き。おしゃれ好きで、髪型を毎日変えたりメイクをしてみたりするため女子ともよく会話が弾む。かわいいうものが好きで、たまにぬいぐるみを買ってきてはベッドの横に飾っている。みんなでワイワイするのが好きで、独りでいるのが嫌い。暗いところと狭いところは特に苦手。あとは食事を汚く食べる人と、不潔な人を見ると嫌な気持ちになる。

孤児院出身で、その孤児院はいわゆるオーヴァードの実験場だった。たくさんの子供達が実験される中に自分もいた。自分は成功体で優秀な個体だった。失敗作と呼ばれた子供たちは雑に扱われ、ジャム化していった。そんな地獄からすくい上げてくれたのが半田支部長。実験施設である孤児院に突入し、そこにいた子供たちを救出し、その後自分の支部へと受け入れてくれた。

家族のように育った支部のみんなや支部長に強い家族愛を抱いている。その反面、役に立てなければジャム化して死んでいったあの子達と同じになってしまう、という強迫観念がトラウマのように染み付いている。だからこそ早くみんなの役に立ちたくて、血を吐くような努力で実力を付けた。しかし支部長には過保護にされて危険な任務を回してもらえず、焦り、あの一件へと繋がってしまった。